

県営野球場の施設の概要と利用状況

青森県

1. 県営野球場の概要

- ・ 総合運動公園内にあり県立美術館や三内丸山遺跡に近く、周囲は住居利用

施設の概要	
所在	青森県青森市安田 三内丸山遺跡・県立美術館近く 用途地域：第二種住居地域内 第1・2種低層住居専用地域に接する
竣工年	昭和42年（1967年）
建設費	約1.1億円（当時）
指定管理者	PFI青い森スポーツパーク株式会社 （令和6年4月1日～令和21年3月31日） ※青森県総合運動公園・運動施設及び新青森県 総合運動公園対象
利用者数（R5）	26,082人
収容人数	21,016人
座席数	5,016席（ベンチ数）
面積	20,783㎡
構造	RC造 一部地上3階建
規格	両翼 93m、センター 121m 内野 クレー舗装、外野 天然芝 ファウルライン～スタンド間 24m ナイター照度 1,000lx



衛星写真出典：国土地理院

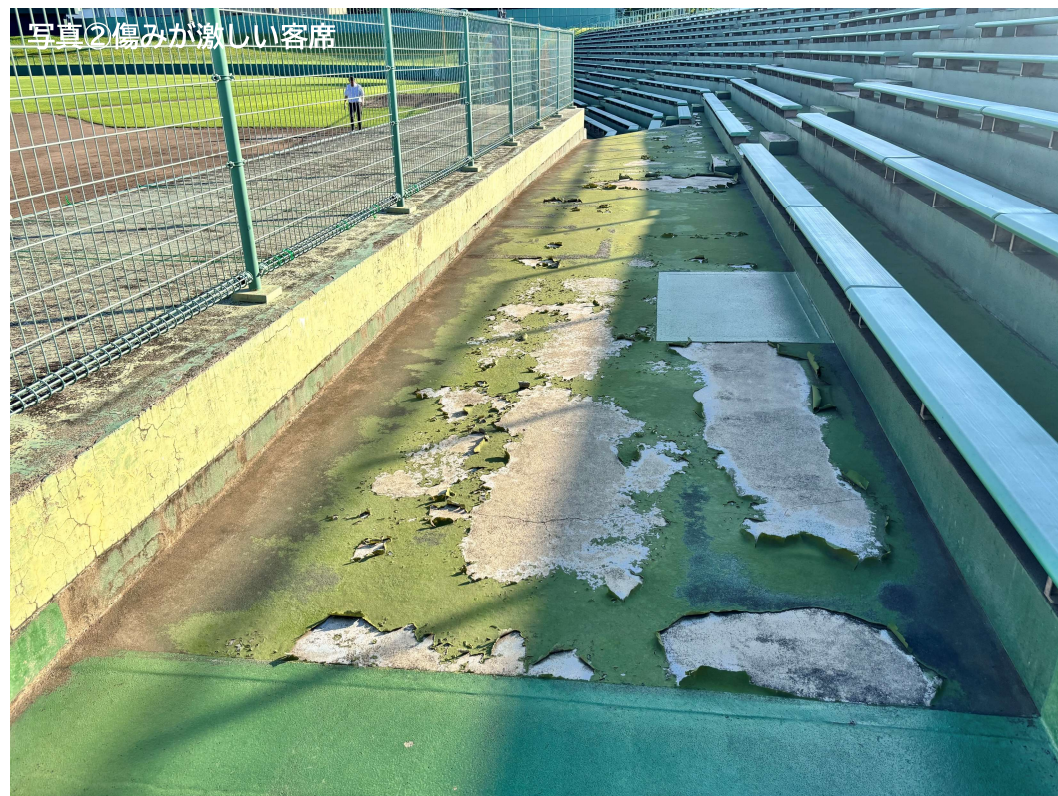
1. 県営野球場の概要

- ・ 築56年で施設に傷み多数で改修しながら継続使用

写真①傷みが激しいメインゲート（北面）



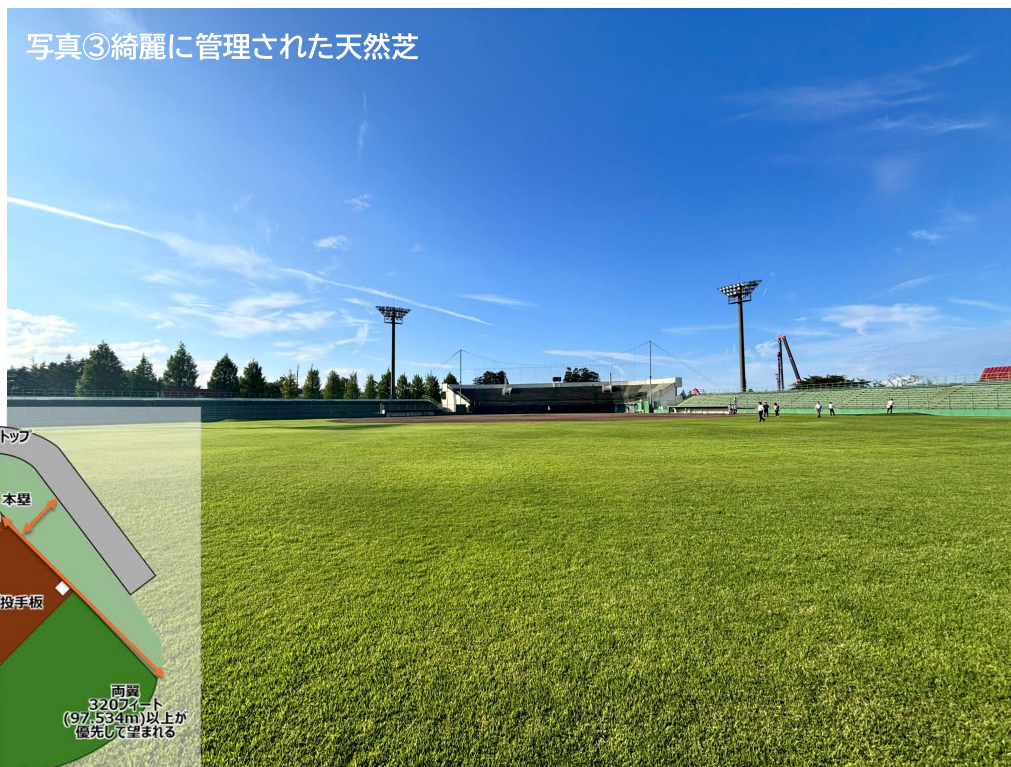
写真②傷みが激しい客席



PCKK撮影（2024.8/1）

1. 県営野球場の概要

- 天然芝の外野とクレイの内野のグラウンドは、適切に管理されている
- 両翼の距離(93m)が短く、プロ野球開催には適さない



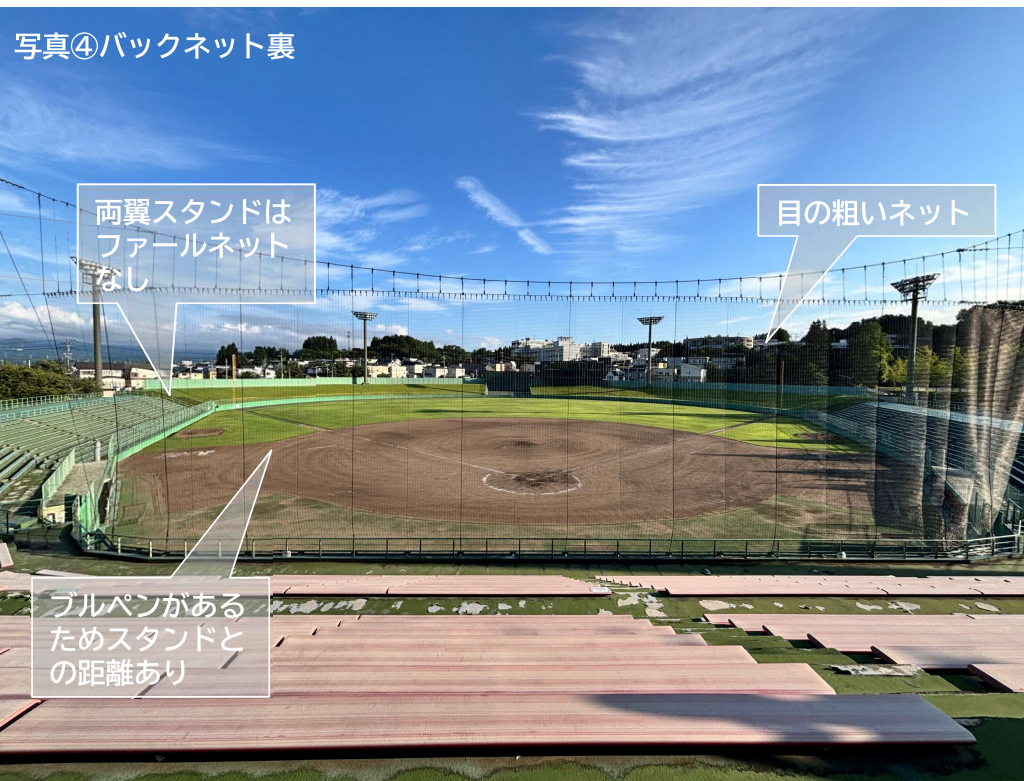
衛星写真出典：国土地理院

「2024年度 公認野球規則」
に定められた競技場の大きさ

PCKK撮影 (2024.8/1)

1. 県営野球場の概要

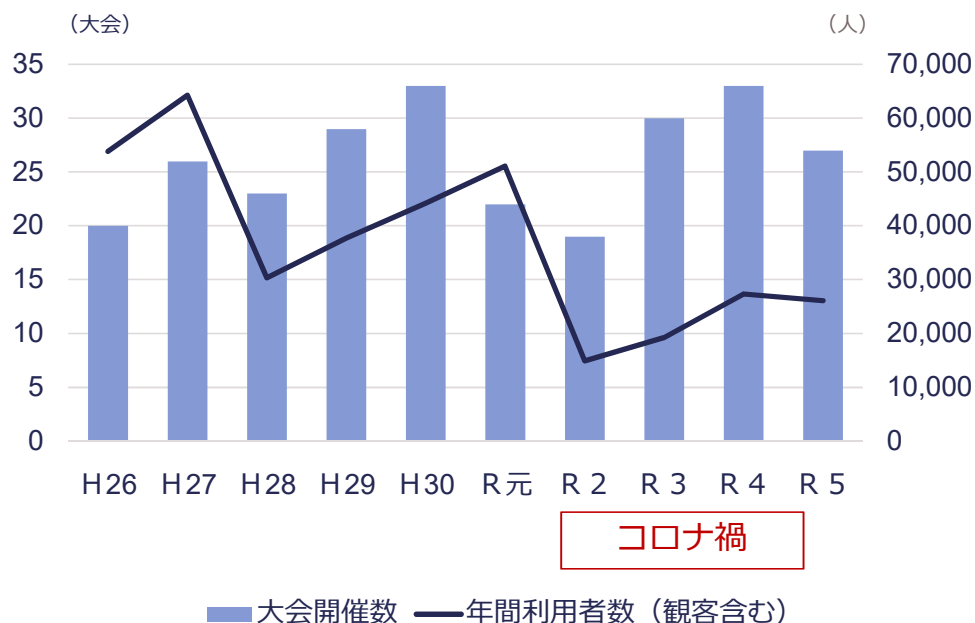
- 観戦環境としては、老朽化したトイレや両翼スタンドにファールネットがない、バリアフリー対応の不足など設備面の問題が多い



2. 利用状況

- ・年20～30の大会利用があり、コロナ禍以前は5万人ほどが訪れていた
- ・硬式の高校野球よりも、軟式野球の大会利用が多い

■大会開催数・年間利用者数（観客含む）の推移



■ 令和5年度利用実績（大会・行事）

	大会・行事名	使用日数計
4月	令和5年度春季青森地区高等学校交流試合	3
5月	第7回青森県軟式野球連盟会長杯争奪少年軟式野球大会兼第40回全日本少年軟式野球大会青森支部予選会 令和5年度 春季青森県高等学校野球選手権大会 第16回青森県古希軟式野球大会 2023年度 北東北大学野球春季リーグ戦 第16回青森県古希軟式野球大会	14
6月	令和5年度東北地区高等学校野球連盟審判講習会 第5回青森県スーパーエイジ野球大会 高松宮賜杯第67回全日本軟式野球大会（1部）青森県予選 令和5年度第74回東青地区中学校体育大会夏季大会野球競技 高円宮賜杯第43回全日本学童軟式野球大会マクドナルド・トーナメント青森県大会 2023年度 北東北大学野球新人戦	13
7月	第54回青森県少年軟式野球大会（小学生の部）青森支部予選会 第13回エービッツ旗学童親善野球大会 第4回2023ロースクラブ青森カップ少年軟式野球大会 第47回全日本クラブ選手権第2次予選東北大会	12
8月	文部科学大臣杯第15回全日本少年春季軟式野球大会兼第2回東北少年軟式野球新人大会青森支部予選会 令和5年度 青森県高校野球リーグ戦大会 2023年度 北東北大学野球秋季リーグ戦 第35回青森県還暦野球大会	10
9月	2023CBS少年軟式野球東日本大会青森県強化交流試合 2023MLBドリームカップ全国軟式野球大会青森県予選会（後期） 令和5年度 秋季青森県高等学校野球選手権大会 第6回NEXTチャレンジカップ	11
10月	令和5年第29回東奥日報杯争奪青森県熟年野球選手権大会 第13回エービッツ旗学童親善野球大会 第3回YAMADAカップ 第7回CBS少年軟式野球「学童新人」全国大会青森県予選会	7
11月	第1回CBS中学生クラブ軟式野球東北大会青森県予選会	1

スタジアム・アリーナ整備の動向

青森県

1. スポーツ振興に関する国の動き

東京オリパラを契機としたスポーツ庁の発足以降、スポーツを核とした
“**地域活性化**”と“**健康増進**”の両方の観点で**スポーツまちづくり**を推進



スポーツの官民連携による成長産業化

スポーツ団体のガバナンス・収益向上等による経営改革や、**スポーツを核とした地域活性化**を推進

- ・「多様な世代が集う交流拠点としてのスタジアム・アリーナ」関係省庁による重点的な支援
- ・地域のスポーツ環境の確保・充実化
- ・地域スポーツコミッション等の活動支援
- ・武道をはじめとするスポーツツーリズムの推進 等

健康まちづくりの推進

健康寿命の延伸が課題である中、適度な運動による**健康づくりを重要視した施策の展開**

<具体的な取組例>

- ・スポーツツーリズム(アウトドアスポーツや武道など)等、スポーツ資源を活用した地域経済の活性化
- ・ハードとソフト両面からスポーツ環境を整備し、スポーツを通じた健康増進の推進

みる・する・支えるに代わる新たな3つの視点

：スポーツを**「つくる／はぐくむ」**
スポーツで**「あつまり、ともに、つながる」**
スポーツに**「誰もがアクセスできる」**

<総合的かつ重点的に取り組む12の施策より抜粋>

- ① 機会創出
- ② DXの推進
- ⑤ 健康増進
- ⑥ 成長産業化
- ⑦ 地方創生、まちづくり
- ⑧ 共生社会の実現
- ⑩ スポーツ推進のためのハード、ソフト、人材

2. スポーツ施設整備環境のトレンド

持続可能なスポーツ環境の整備、管理・運営が求められる中、
民間活力を積極的に活用した、量的・質的な充足が図られる施設整備

いわて盛岡ボールパーク (きたぎんボールパーク)

【所在地】 岩手県盛岡市

【供用開始】 2023年 4 月

県と市の共同によるPFI事業で、**行政が一定程度関与する「みんなの野球場」**として運営。野球場、屋内練習場ともに、**野球のみならず多目的に日常から利用でき、地域活性化、交流推進に寄与**する「ボールパーク」として整備。都市公園内のスポーツ施設として、野球場コンコースを利用したランニングコースや野球場を模した大型遊具「キッズスタジアム」など、**公園機能も付加し、日常の健康づくりにも活用**。



柳島スポーツ公園

【所在地】 神奈川県茅ヶ崎市

【供用開始】 2018年 3 月

市内初のPFI事業で、「**地域の人々のニーズで地域のために作り上げる公園づくり**」を実践。地元人材の活用や県産材の採用など、**地域の活性化に寄与**することを強く打ち出し**地域経済の循環**を目指す。「市民がスポーツを始めるきっかけとなり、スポーツのある豊かな生活習慣を身につける公園」を目指すとともに、「**健康をテーマにした多様な活動や交流の場を創出し**、より多くの市民に親しまれる「コミュニティの場」を目指す。



新青森県総合運動公園 (マエダアリーナ50mプール)

【所在地】 青森県青森市

【供用開始】 2024年 4 月

民間事業者による一体的な運営により、2つの県総合運動公園を管理・運営。新設の50mプールでは可動床による水深変更が可能な構造であり、**様々なレベルの競技者に対応し、一般利用から各種競技会まで幅広く活用可能**とするなど、**様々な工夫を講じることで持続可能性を高めている**。また、ラウンジや会議室等には移動間仕切壁があり、**利用目的に応じたフレキシブルなレイアウトが可能**。



2. スポーツ施設整備環境のトレンド

全国の自治体がスポーツツーリズムやスポーツコミッション等により、**スポーツを活用した「地方創生」「まちづくり」**を実践

茨城県境町

(スポーツによる交流・移住・定住)

【スポまち！長官表彰】2021, 2022, 2023

オリンピックレガシーを活かして、オリンピック基準のホッケー場やテニスコート、アーバンスポーツパークや人工サーフィン場を整備。国際基準である施設であり、国内トップクラスの選手が練習に訪れるなど注目度が高く、**技量を磨きたい若い世代の移住・定住**に繋がっている。

町では、地域おこし協力隊制度を活用しながら**スポーツを軸にした交流・定住人口の拡大と健康まちづくり**の実現を目指している。

佐賀県武雄市

(スポーツコミッションによる合宿や大会の誘致)

【スポまち！長官表彰】2022

スポーツによる人と人との交流及び地域の交流を促進し、市民の「生活の質、心の豊かさ」を向上させることを目標に、SAGA武雄温泉スポーツコミッションを設立。

スポーツツーリズムコーディネーター人材の育成、スポーツ**合宿や大会の誘致**による地域活性化の他、地域の特色を生かした**スポーツツーリズムの開発**や、“**スポーツ×食**”のプログラムの企画実施など、様々な取り組みを行っている。

宮城県角田市

(地域に根ざしたスポーツまちづくりの取り組み)

【スポまち！長官表彰】2021

総合スポーツ施設と隣接する道の駅を核としたスポーツによるまちづくりを展開。スポーツ**大会や合宿の誘致**、**アーバンスポーツの体験会等**により**賑わいを創出**する他、“子育て”をテーマに、天然芝を活用した**幼児用遊び場**の整備や**親子運動遊び教室**を開催。**道の駅と連携したスポーツ栄養学に基づいたお弁当の提供**や**スープリュームビジョン体験（動体視力、判断力のトレーニング）**など、様々な施策を実施している。

事業全体の流れ及び検討会議の進め方について

青森県

検討会議のポイント

本検討会議では、

**「野球場を核として賑わいや交流を創出するボールパーク」
(野球場×○○) の基本的な考え方**

を検討していただきます（設計や計画の前の“構想”の段階）

✓以下の点を議論しながら、コンセプトのイメージを検討します

- ・ボールパークとしてどのような**機能や役割**が求められているのか
- ・こういった**場所**に整備することが望ましいのか など

野球場×公園

野球場×道の駅

野球場×カフェ

野球場×キッズ

野球場×シニア

野球場×福祉

野球場×健康

野球場×キャンプ

野球場×温泉

野球場×アート

野球場×保育園

野球場×スケボー

野球場×オフィス

野球場×eスポーツ

野球場×防災

検討会議の進め方

第1回 8月27日

第2回 10月頃

第3回 12月頃

第4回 2月頃

議題

- 野球場を核に年間を通じた賑わいや交流を創出する**ボールパークのイメージ**について
- 野球場に関する**問題点・課題**について

議題（案）

- 事業の目的共有
- 賑わいや交流のイメージ、あり方について
- 整備場所の検討

議題（案）

- 野球場に求める事項について

アウトプットのイメージ

コンセプトイメージを形成

整備場所の考え方

**ボールパークに求められる機能・役割の考え方
（野球&賑わい）**

報告書の作成

提示する資料の例

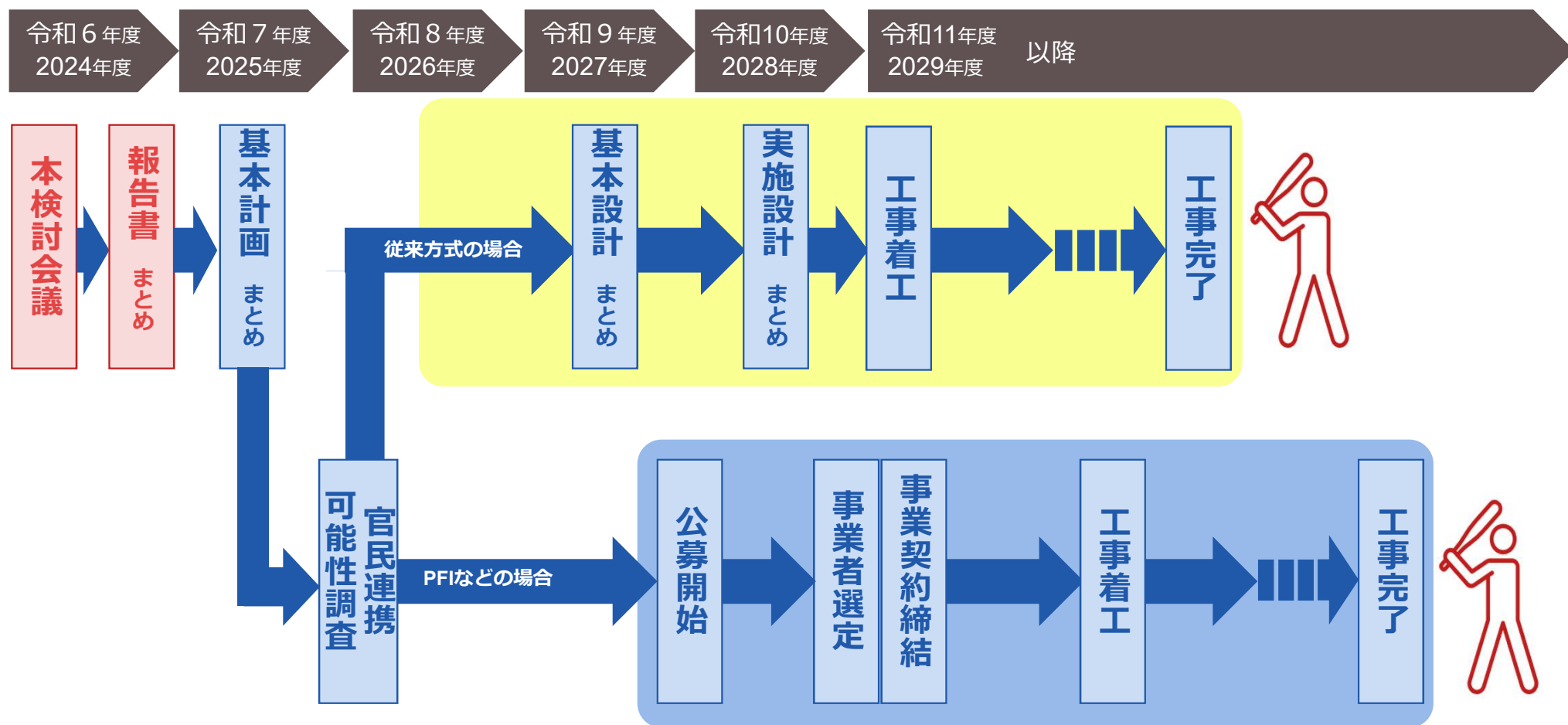
事例やデータ等

関係団体ヒアリング
県民アンケート
あおばなによる若者の意見

ゾーニングイメージ図

仕様・費用に関する資料等

事業全体の流れのイメージ



※今後の検討内容・事業規模等によって工程は変動します

目指すべきボールパークのイメージ案

青森県

年間を通じた賑わい・交流の創出

- 青森県における「野球場を核に年間を通じた賑わいや交流を創出するボールパーク」として、どのような賑わい・交流機能が相応しいのか、目指すべきボールパークの役割やイメージについて各々のお考えなどをディスカッションしていただきます。

賑わい・交流機能のイメージ

- ・スポーツ施設を中心とした賑わい・交流機能の**イメージ**について、参考事例と共にご紹介します。

	F ビレッジ	Busch Stadium	CHS Field	きたぎんボールパーク
施設概要	プロ野球球団による民設民営の大規模開発 広大な敷地に多様な施設を整備	スタジアムを中心とした周辺エリア開発による市街地の大規模商業エリア	地域社会に根差したマイナーリーグのボールパーク	多目的な屋内練習場などスポーツ機能が充実
賑わい機能	商業施設、宿泊施設、農業学習施設、保育園、児童遊戯施設、高齢者住居	商業施設、ミュージアム、ショッピングセンター、屋外イベント広場、高級集合住宅	ミュージアム、芝生広場、クラフトビールコーナー、キッズコーナー、ドッグラン	屋内練習場、ギャラリー、屋内遊戯場

※ スポーツ施設における賑わい機能の例

商業施設・飲食施設・公園・医療福祉施設・行政施設・児童遊戯施設・保育園・高齢者居住施設・トレーニングジム・スポーツクリニック・eスポーツ・コワーキングスペース・英会話教室

整備場所の考え方

青森県

整備場所の考え方

- 整備場所は、現県営野球場がある青森市内を基本として考える
- 賑わいや交流の拠点として「野球場×〇〇」の効果の最大化が狙える場所とする

例

- ・ 県民/地域の方々が日常的に行きやすい場所
- ・ 観光客・遠方からの観戦者にとって訪れやすい場所
- ・ 周辺の土地利用やまちづくりとの相乗効果が期待される場所

本県の野球に関する現状

青森県

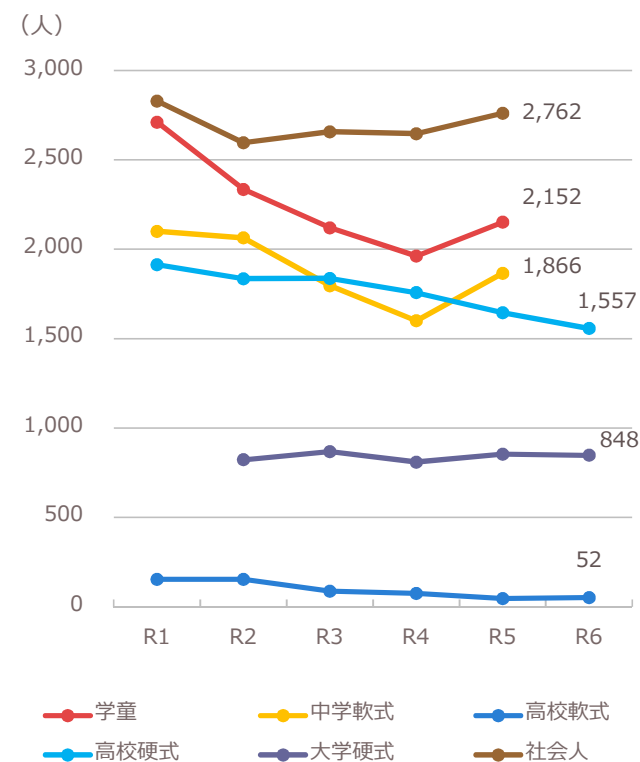
1.青森県の野球人口（学童・中学校・高校・大学・社会人）

- 県内野球人口（チーム数）は東北内でも多く、学童・高校以外は横ばい傾向にある

■ 青森県内における近年の野球人口・チーム数

		野球人口	チーム数	備考
学童		2,152人（R5）	－	
中学	軟式	1,866人（R5）	－	
	硬式	－	10チーム	岩手県11チーム、秋田県6チーム、宮城県24チーム、山形県5チーム、福島県6チーム
高校	軟式	52人（R6）	4校	岩手県6校（104人）、秋田県6校（137人）、宮城県12校（329人）、山形県1校（11人）、福島県0校（0人）
	硬式	1,557人（R6）	54校	岩手県65校（1,907人）、秋田県43校（1,426人）、宮城県69校（2,146人）、山形県45校（1,404人）、福島県69校（2,106人）
大学	軟式	－	4校	奥州地区大学軟式野球連盟の加盟校：計9校
	硬式	848人（R6）	7校	北東北大学野球連盟1～3部リーグ加盟校：計16校
社会人	軟式	2,762人（R5）	－	
	硬式	－	5チーム（企業1）	岩手県26チーム（企業2）、秋田県10チーム（企業2）、宮城県13チーム（企業2）、山形県4チーム（企業1）、福島県21チーム（企業0）

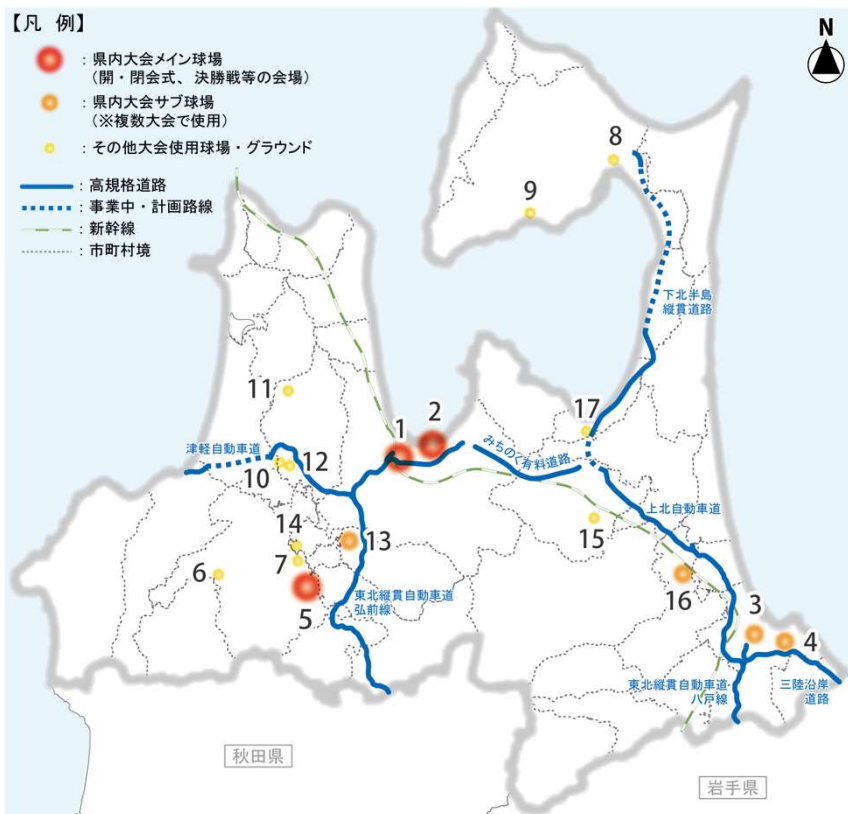
■ 青森県内における野球人口の推移



2.本県におけるアマチュア野球の動向

- ・ 県内大会の主要球場（閉会式等）は県営野球場・ダイシン・はるか夢
- ・ 近年の東北大会・全国大会は他県で開催

【凡 例】



No	施 設 名
1	青森県営野球場（青森市）
2	ダイシンベースボールスタジアム（青森市）
3	長根公園野球場（八戸市）
4	八戸東運動公園野球場（八戸市）
5	はるか夢球場（弘前市） 弘前運動公園多目的運動広場（弘前市） 弘前市克雪トレーニングセンター（弘前市）
6	岩木山総合公園野球場（弘前市）
7	弘前中央高校グラウンド（弘前市）
8	むつ運動公園野球場（むつ市）
9	川内球場（むつ市）
10	五所川原市営野球場（五所川原市）
11	金木運動公園野球場（五所川原市）
12	つがる克雪ドーム（五所川原市）
13	黒石運動公園野球場（黒石市）
14	藤崎アップル球場（藤崎町）
15	七戸町総合運動公園野球場（七戸町）
16	メイプルスタジアム（六戸町）
17	野辺地町総合運動公園野球場（野辺地町）

【東北大会（小・中・高）の主な開催地】

- 青森県
 - ・ 近年は開催実績なし
- 宮城県
 - ・ 楽天モバイルパーク宮城（仙台市）
 - ・ セイホクパーク石巻（石巻市） 他
- 岩手県
 - ・ きたぎんボールパーク（盛岡市） 他
- 秋田県
 - ・ グリーンスタジアムよこて（横手市）
 - ・ 大仙球場（大仙市） 他
- 山形県
 - ・ きらやかスタジアム（山形市）
 - ・ ヤマリョースタジアム（中山町） 他
- 福島県
 - ・ ヨーク開成山スタジアム（郡山市）
 - ・ みちのく鹿島球場（相馬市） 他

【全国大会の主要開催地】

- ・ 明治神宮野球場、東京ドーム、明石トーカロ球場、阪神甲子園球場
- ・ 福島・秋田は開催実績あり
- ※その他輪番制による開催多数

2.本県及び東北地方におけるプロ野球の開催状況

- ・青森県内のプロ野球 1 軍公式戦は近年「はるか夢球場」年 1 試合のみ
- ・東北他県では同年に複数球場あるいは同一球場での複数開催実績あり

		開催年								
		2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020～2021年	2022年	2023年	2024年
青森県	はるか夢球場（弘前市）	-	-	1	1	1	新型コロナウイルス感染症の影響により 地方球場での開催無し	1	-	1
秋田県	こまちスタジアム（秋田市）	3	3	1	-	2		1	1	1
岩手県	きたぎんボールパーク（盛岡市）	-	-	-	-	-		-	2	1
	岩手県営野球場（盛岡市）	1	1	1	-	1		1	-	-
宮城県	—	-	-	-	-	-		-	-	-
山形県	きらやかスタジアム（山形市）	-	-	-	1	1		-	1	1
	ヤマリョースタジアムやまがた（中山町）	1	2	2	-	-		1	-	-
福島県	福島県営あづま球場（福島市）	1	1	1	-	-		-	-	1
	ヨーク開成山スタジアム（郡山市）	2	1	1	1	1		1	-	-

※雨天中止の試合含む 3

2.本県及び東北地方におけるプロ野球の開催状況

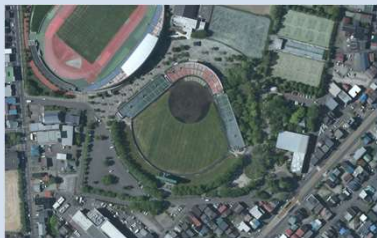
・プロ野球開催※に適した県内の球場は「はるか夢球場」のみ

※ 「公認野球規則 2024年版」に定める競技場の大きさ：両翼320フィート(97.534m)以上 中堅400フィート(121.918m)以上が優先して望まれる

球場名	青森県営野球場	はるか夢球場	ダイシンベースボール スタジアム	八戸長根公園野球場	メイプルスタジアム
写真					
出典：GEOSPACE CDSプラス					
所在地	青森県 青森市	青森県弘前市	青森県青森市	青森県八戸市	青森県六戸町
人口	275,192人	168,466人	275,192人	223,415人	10,447人
周辺環境	公園／住宅	工場	公園／住宅	公園／住宅	公園／耕作地
最寄り駅からの距離	JR新青森駅から4.0km	弘南鉄道運動公園前駅から約200m	JR青森駅から3.7km	JR本八戸駅から1.3km	青い森鉄道向山駅から6.3km
大きさ※	両翼 93m 中堅 121m	両翼 100m 中堅 122m	両翼98m 中堅121m	両翼91m 中堅120m	両翼97.5m 中堅122m
収容人数（人）	固定席 5,016 芝生席 16,000	固定席 6,580 芝生席 8,200	固定席2,945 芝生席7,065	固定席7,500 芝生席3,500	固定席1,700 芝生席3,300
プロ野球 一軍公式戦 試合数 2019～23年5 年間合計	0試合	3試合	0試合	0試合	0試合

2.本県及び東北地方におけるプロ野球の開催状況

参考：北海道・東北エリアの主要な野球場比較（1/3）

球場名	スタルヒン球場	千代台公園野球場 (オーシャンスタジアム)	エスコンフィールド HOKKAIDO	青森県営野球場
写真 出典：GEOSPACE CDSプラス				
所在地	北海道 旭川市	北海道 函館市	北海道 北広島市	青森県 青森市
人口	329,306人	251,084人	58,171人	275,192人
周辺環境	自衛隊駐屯地／河川	住宅／商業施設	商業施設／国有林	公園／住宅
最寄り駅からの距離	JR新旭川駅から2.5km	JR函館駅から2.6km	JR北広島駅から2.0km	JR新青森駅から4.0km
大きさ	両翼 95m 中堅 120m	両翼 99.1m 中堅 122m	左翼97m右翼99m中堅121m	両翼 93m 中堅 121m
収容人数（人）	固定席 10,000 芝生席 15,000	固定席 9,000 芝生席 11,000	固定席 29,000 入場のみ 6,000	固定席 5,016 芝生席 16,000
プロ野球 一軍公式戦 試合数 2019～23年5年間 合計	5試合	0試合	71試合 ※2023年供用開始	0試合

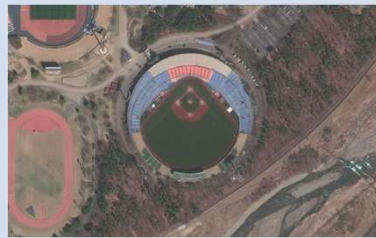
2.本県及び東北地方におけるプロ野球の開催状況

参考：北海道・東北エリアの主要な野球場比較（2/3）

球場名	はるか夢球場	さきがけ八橋球場	こまちスタジアム	きたぎんボールパーク (いわて盛岡ボールパーク)
写真 出典：GEOSPACE CDSプラス				
所在地	青森県弘前市	秋田県秋田市	秋田県秋田市	岩手県盛岡市
人口	168,466人	307,672人	307,672人	289,731人
周辺環境	工場	住宅／商業施設	工場／研究施設	田畑／市場
最寄り駅からの距離	弘南鉄道運動公園前駅から約200m	JR秋田駅から2.9km	JR泉外旭川駅から4.3km	JR岩手飯岡駅から1.2km
大きさ	両翼 100m 中堅 122m	両翼 100m 中堅 122m	両翼 100m 中堅 122m	両翼 100m 中堅 122m
収容人数（人）	固定席 6,580 芝生席 8,200	固定席 8,581 芝生席 7,840	固定席 15,000 芝生席 10,000	固定席 12,000 芝生席 8,000
プロ野球 一軍公式戦 試合数 2019～23年5年間 合計	3試合	0試合	3試合	2試合 ※2023年供用開始

2.本県及び東北地方におけるプロ野球の開催状況

参考：北海道・東北エリアの主要な野球場比較（3/3）

球場名	ヤマリョースタジアム山形	楽天モバイルパーク宮城	福島県営あづま球場	福島市信夫ヶ丘球場
写真 出典：GEOSPACE CDSプラス				
所在地	山形県東村山郡中山町	宮城県仙台市	福島県福島市	福島県福島市
人口	10,746人	1,096,704人	282,693人	282,693人
周辺環境	田畑／河川	住宅／操車場／病院	田畑／住宅／河川	住宅／河川／学校
最寄り駅からの距離	JR羽前長崎駅から1.3km	JR仙台駅から1.7km	JR福島駅から10.5km	JR福島駅から4.3km
大きさ	両翼 100m 中堅 120m	両翼 100.1m 中堅 121m	両翼 100m 中堅 122m	両翼 100.6m 中堅 115.8m
収容人数（人）	計25,000 ※固定席、芝生席内訳不明	固定席約31,000 ※一部芝生席あり	固定席 14,390 芝生席 15,610	計15,000 ※固定席、芝生席内訳不明
プロ野球 一軍公式戦 試合数 2019～23年5年間 合計	1試合	335試合	0試合	0試合